

平成30年度取り組みに向けた区政会議意見まとめ
(魅力あるまちをつくろう！部会)

No.	項目	日時	意見	対応
1	担い手・地域力	6/29	見守り・青パトも高齢化、うまく世代交代するシステムが必要。折角の取り組みが自然消滅したらもったいない。	
2		6/29	つながりがあれば声をかけられる。まずは挨拶から。見守りをしている大人と子どもが会話をすることでつながるきっかけになる。	
3		6/29	自分の世界を持ち地域から離れる20～30代へのアプローチ、家庭を持ち地域に帰ってくる30代をまちにつなげるシステム化、イベントがあれば、声かけがしやすい。	
4		6/29	こども110番は、認識が低くなっている。町会が把握に回り、こどもたちに伝えることが課題。隣近所の顔が見えるところにつながり、子育て・防犯面でも重要。	
5		6/29	住んでいる人は日中働きに出ていていない。働きに来ている人を地域に結びつけないか。北区等では企業が地域と組んで見守りをしている。今までの町会の枠組みから広げては。	
6		6/29	工場や商店街が多い地域と、団地等が多い地域など、地域で特色が違う。町会の力も様々。その地域に合った取り組みをしていくこと。世代・事情が違う中でも交流・つながりをつくらないと、もうそこで終わってしまう。地域の特性に応じた区役所の細かい支援が必要。	
7		6/29	町会に入っている人にしかその特典が見えない。活動などの情報も伝わらない。活発化するには、重要性や会費でどういう事業をしているかの周知が必要。	
8		8/24	活動すればするほど費用負担や精神的ストレスになっている。少しでも負担を減らす方向で考えていただきたい。	
9	情報発信	6/29	ホームページもSNSも見ているのは地域の特定の人、既に地域に入っている人であることが多い。広くというのはなかなか難しい。	
10		6/29	こども食堂や学習支援が必要な人にどうやって自然に興味をもち気軽に参加してもらえるか。きっかけづくりが必要。伝えたい人にどう情報を広げていったいいのか。	
11		7/27	地域の団体と活動したいと思っている人をつなげるために地域活動などさまざまな情報を集約して発信していく。年配の方や子どもとのつながり、地域から離れている人とのつながりなど、年齢や立場を問わずいろんな人をつなげるために情報発信が必要ということ。	
12		8/24	新しい取り組みを始めるときに、行政の後ろ盾などがあるとありがたい。	
13		8/24	地域からの情報発信は難しい。HPをつくってアドレスを入れたチラシを配っても見てもらえていない。広報紙も知られていない。区HPからのリンクは探す必要がありわかりにくい。小学校のHPに地域活動協議会のHPリンクをしてもらえれば保護者が見やすい。	
14	連携	5/23	「自助・共助」「向こう三軒両隣」のためにコミュニティづくりの見直しが必要。団体・企業と地域のニーズを結びつける深くつなげるような事業や事例共有をしてほしい。	
15		8/24	PTAは学校内の取り組みを把握できる。PTAが各団体が行っている活動の横のつながりをつくっていけないか。	
16		8/24	新しい魅力づくりや活動をしている団体と地域がもっと連携することも必要。	

No.	項目	日時	意見	対応
17	にぎわい・魅力	昨年	子どもが元気なまち・情報発信できるイベント・区民まつりの活性化・いつでもどこでも元気東淀川∞（エンドレス）フェス	
18		6/29	自然の中で遊べる河川公園の強化。公園整備、歩道橋や信号設置などのアクセス向上、大きなイベントなどソフト面も必要。淀川に行きやすくし子どもが集う場にするため道路の整備や信号など足りない部分を洗い出す。	
19		6/29	緑化整備。開発中の高架下に緑化公園をつくるなど。	
20		6/29	年配の方も子どもも元気なまち。安全な遊び場として学校開放。コンビニの活用。	
21		6/29	夢の公園・夢の淀川など、子どもからアイデアを集める。	
22		6/29	子どもが楽しめる大きなイベント。B級グルメなど。	
23		6/29	犯罪の減少。特に多い女性犯罪の減少。	
24		6/29	道を整備し散歩しやすくして、椅子を置き、皆が外に出ていくようなまち。バリアフリー。	
25		7/27	区をあげた魅力あるまちづくりの大きなイベントが必要。（区民まつり活性化も）	
26	居場所	6/29	居場所がない子などにいかに来てもらうか。特別扱いというか変にテーマを出さず、その子らがおもしろそうと自然に興味を持ち、気軽に来れる場所をつくってあげたい。そのきっかけづくりが必要。いいアイデアがあれば。	